

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	環境振動制御技術小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境振動運営委員会)	
設置期間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種制振技術の概要や適用事例に関する情報を収集し、その成果を広く会員に展開し、居住性の向上に寄与する。</li> <li>・予測解析の精度について、解析モデルやプログラムによる違いを検証するとともに、そのばらつきの要因について議論する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	鈴木 健司 (清水建設)、林 健太郎 (ベネック振動音響研究所)、洞 宏一 (特許機器)、石橋 敏久 (鹿島建設)、井上 雄介 (リオン)、片迫 幹男 (日本設計)、嘉村 武浩 (日建設計)、高津 熟 (産業環境管理協会)、田中 靖彦 (間組)、本間 剛 (森ビル)、増田 圭司 (フジタ)、森下 真行 (前田建設工業)、吉岡 宏和 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	25,000 円	ホームページ公開の有無：有 (環境振動運営委員会として) 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 簡易なモデル化による解析を種々のプログラム、解析法で実施</li> <li>2. 解の差ついて各自見直しながら検討し、固有値には差が出ないことを確認</li> <li>3. 固有値解析を足がかりにモデル化の違いによる解の差を検討していく</li> </ol>
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員に実務担当者が占める割合が多いので、各社繁忙になると進捗に影響し、委員会の集まりも悪くなる</li> <li>2. 実務においては個別のやり口があり、共通のテクニックとして抽出困難</li> </ol>

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。